

WATEX XLDR-L2

取扱説明書

Ver.10

製品型式

GPS なし型番	型番	カメラ数	GPS	電源	駐車録画
XLDR-L2S	XLDR-L2S-B	1 カメラ	×	配線	○
	XLDR-L2S-S	1 カメラ	×	シガー	×
	XLDR-L2S-R-B	2 カメラ	×	配線	○
	XLDR-L2S-R-S	2 カメラ	×	シガー	×
	XLDR-L2S-IR-B	2 カメラ (赤外線)	×	配線	○
	XLDR-L2S-IR-S	2 カメラ (赤外線)	×	シガー	×
GPS あり型番	型番	カメラ数	GPS	電源	駐車録画
XLDR-L2KG	XLDR-L2KG-B	1 カメラ	○	配線	○
	XLDR-L2KG-S	1 カメラ	○	シガー	×
	XLDR-L2KG-R-B	2 カメラ	○	配線	○
	XLDR-L2KG-R-S	2 カメラ	○	シガー	×
	XLDR-L2KG-IR-B	2 カメラ (赤外線)	○	配線	○
	XLDR-L2KG-IR-S	2 カメラ (赤外線)	○	シガー	×

XLDR-L2G シリーズ

GPS なし型番	型番	カメラ数	GPS	電源	駐車録画
XLDR-L2GS	XLDR-L2GS-R-B	2 カメラ	×	配線	○
	XLDR-L2GS-R-S	2 カメラ	×	シガー	×
GPS あり型番	型番	カメラ数	GPS	電源	駐車録画
XLDR-L2GKG	XLDR-L2GKG-R-B	2 カメラ	○	配線	○
	XLDR-L2GKG-R-S	2 カメラ	○	シガー	×

●リアカメラ

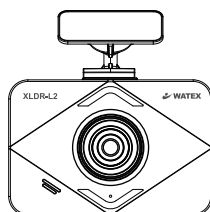


赤外線なしタイプ



赤外線付きタイプ

●カメラ本体



このたびは、本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 商品のデザイン、仕様、外観は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

目 次

お使いになる前に	3
安全上のご注意	4
取り付け上の注意事項	6
microSD カードご使用に關しての注意事項	7
各部の名称とはたらき	8
内容物の確認	9
ドライブレコーダーを取り付ける	10
リアカメラを設置して撮影する (リアカメラ購入時)	12
録画の種類	13
microSD カード内ファイル構成	14
ドライブレコーダーを使う	15
初期画面 / ライブ映像	17
初期画面 / メニュー・音声録音・音声案内	18
初期画面 / 録画映像を本体で再生する	19
初期画面 / 録画状態・録画情報・LED 設定	20
メニュー画面 / カメラ設定 (明るさ・彩度)	21
メニュー画面 / 時間設定	22
メニュー画面 / システム設定 (遮断電圧・LCD 設定時間・TV-OUT・高温遮断・音量)	23
メニュー画面 / 録画設定 (画質・リアカメラ録画設定・録音ボリューム・モーション感度・G センサー感度)	25
メニュー画面 / その他 [システム情報]	27
メニュー画面 / その他 [メモリ割り当て]	28
メニュー画面 / その他 [タッチ補正]	29
メニュー画面 / その他 [SD フォーマット]	30
メニュー画面 / その他 [初期化]	31
システムをアップデートする	32
LED ランプについて	33
録画時間の目安 (1 カメラ時)	34
録画時間の目安 (2 カメラ時)	35
製品仕様	36
【付属】XLDR-L2 ビューアー説明書	

お使いになる前に

このたびはお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品は常時録画及び車体に受けた衝撃を感知して、その衝撃の前後の映像を記録する装置です。本製品を正しく安全にお使い頂くために、本書を最後までよくお読みください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。また、取扱説明書の内容は予告なく変更することがございます。最新の取扱説明書は、弊社のホームページからダウンロードしてご利用ください。

本製品について

- 本製品は常時録画及び衝撃を感知して映像を記録する装置ですが、軽い衝突事故でセンサーが作動しなかったり、事故で電源ケーブルが外れて電源供給が止まった場合など、状況によっては映像が記録できない場合があります。弊社では映像が記録されなかった時の責任は一切負いません。
- 本製品は事故が起きた時の検証の補助として使用するものですが、法的証拠としての効力を保証するものではありません。
- LED 式の信号機は目に見えない高速で点滅しているため、本製品で撮影すると点滅したり、消灯したりしているように撮影されることがあります。信号機が映らないことに際しまして弊社は一切の責任を負いません。
- 本製品で記録した映像は、場合によって被撮影者のプライバシー権利を侵害することがあります。映像を活用する際はその点に十分ご注意ください。撮影した映像に関するトラブル等に際しまして弊社は一切の責任を負いません。
- 夕暮れ時等、照明装置の状態（スモールライト等）によっては映像が映りにくい場合があります。
- XLDR-L2S は GPS を付属していないため、ご使用前に必ず時計設定を行ってください。（22 ページ参照）
- 駐車録画による車両のバッテリー上がりに関して弊社は、一切の責任を負いません。また保証なども一切ありません。車両側のバッテリーチェックは定期的に行ってください。

本製品を本取扱説明書に従い正しく使用していた場合でも映像及びデータの記録を完全に保証するものではありません。万が一映像やデータの保存ができなかった場合でも、弊社や販売店は一切の責任を負いません。

安全上のご注意

製品及び取扱説明書には、ご使用になる方や他の方への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくご使用頂くために重要な事項を記載しています。下記の絵表示（図・マーク）を正しく理解し、記載事項をお守りください。



危険・警告



分解禁止



プラグを
抜く



禁止



指示



警告

以下の注意事項を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります。



本製品を濡らさないでください。水につけたり、水をかけないでください。また濡れた手で操作しないでください。感電・故障の原因となります。



運転中に本製品を操作しないでください。運転中に本製品を操作すると道路交通法違反になります。また交通事故の原因となりますので大変危険です。



本製品を分解しないでください。本製品は精密機器ですので、分解や改造を加えると感電・故障の原因となります。



本製品から煙が出たり異常に発熱しているときは、ただちに使用を中止し、電源ケーブルを抜いてください。



電源ケーブルを分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。



電源ケーブルを引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。ケーブルが傷つくと火災・感電の原因となります。



窓付近等の水がかかる恐れがある場所に設置しないでください。本製品は防水仕様ではありません。水がかかかりますと故障や火災・感電の原因となります。



運転や視界の妨げになる位置に取り付けしないでください。交通事故の原因となります。



エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしないでください。本製品が外れて事故やケガの原因となります。また、エアバッグが正常に動作しないことがあります。



注意

以下の注意事項を無視して誤った取り扱いをすると、使用者がケガをしたり、物的損害が発生したりする可能性があります。



本製品に強い衝撃を与えたり、高い所から落としたりしないでください。強い衝撃を与えますと精密部品が壊れ、故障の原因となります。



本製品をお手入れする場合は、電源ケーブルを抜き、柔らかい布やティッシュペーパー等で優しく拭いてください。シンナー・ベンジン・化学雑巾等の薬品類は使用しないでください。



振動が多い場所など確実に取り付けできない位置に取り付けしないでください。本製品が外れて事故やケガの原因となります。



エンジンを止めても電源を供給し続ける車種には使用しないでください。



本製品を取り付けする時は、必ず付属の取り付け部品を使用してください。指定以外の部品を使用すると本製品が損傷したり、しっかりと固定できずに外れたりすることがあり危険です。



電源ケーブルは本製品付属品をお使いください。指定以外のものを使用すると火災・故障の原因となります。



付属のシガージャックケーブルが、シガーライターソケットの形状に合わない場合、ご使用にならないでください。火災・故障の原因となります。



本製品は12Vまたは24Vマイナスアース車専用です。それ以外の車には使用しないでください。



本製品は車両内部の温度上昇に伴い、高温になることがありますので取り扱いに注意してください。



電源がオン状態または、録画中に microSD カードを取り出すと記録データと microSD カードが破損する可能性があるので注意をしてください。



本製品は、万が一の事故発生時に映像を記録することを目的とした装置ですが、すべての事故映像を録画することを保証したものではありません。センサーの設定値や事故の状況によっては、録画されないことがあります。



万が一映像が記録されなかった場合や、録画した映像が破損した場合などについては、弊社は一切責任を負いません。



本製品を設置する際には、『道路運送車両法に基づく保安基準』を厳守し、運転者の視界を妨げない位置に設置してください。



記録された映像は事故原因検証に対して補助的なデータになりますので、必ずしも証拠効力があるとは限りません。

取り付け上の注意事項

- 油分、水滴等の貼り付け面の汚れをきれいに拭き取ってからテープを貼ってください。汚れが付いているとテープの粘着力が弱くなり、走行中に剥がれる恐れがあります。
市販のガラスクリーナー等で拭き上げてから貼ってください。
- 雨天や霧、梅雨の時期など湿度が高いときはテープに湿気が付着し、テープの粘着力が弱くなることがあります。できるだけ好天候の日に取り付けてください。
- 付属の両面テープは粘着力が強いので、一度貼り付けたテープはなかなか剥がれません。貼り直ししないで済むように取り付け位置は慎重に決めてください。
- 貼り付けが完了したら、ブラケットをしっかりと押さえつけて気泡等の貼りムラが無いか確認してください。貼りムラがあると、その部分から水分等が入り走行中に剥がれる恐れがあります。必ずガラスの裏側から気泡等が無いか確認してください。
- 取り付けが完了してから24時間はできるだけ車を動かさないでください。振動により粘着面に空気が入り込むと粘着力が弱くなります。
- 本機の設置作業は必ず平らな場所で行ってください。Nレンジで車が動いてしまうような傾斜地での作業は絶対に行わないでください。
- 取り付け位置は車両フロントガラス上部で、運転者の視界を遮らない位置に取り付けてください。またルームミラーを動かしても本機に当たらない位置に取り付けてください。
- 本機の近くに GPS 機能を持つ製品や VICS 受信機を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。
- ラジオやテレビアンテナの近くで使用すると、ラジオ雑音やテレビ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。
- スマートキー電波受信機などの近くに設置すると電波干渉が起きてキーが効かなくなる場合があります。なるべく各受信機の近くに設置しないでください。また、電波干渉軽減の必要がある方はフェライトコアを取り付けてください。

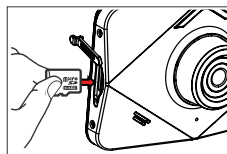
microSD カードご使用に關しての注意事項

もしも事故が起きたら・・・

- 事故発生時は記録された録画ファイルが上書きされないように、必ずエンジンを (電源) OFF にして microSD カードを取り外して安全な場所に保管してください。

microSD カードご使用に關しての注意事項

- 推奨された付属の microSD カードをご使用ください。推奨以外のカードでは映像保存が正常に行われないなどの不具合が発生する場合があります。その場合には動作の保証はいたしかねます。
- microSD カードの出し入れは、かならずエンジンを停止し LED ランプが消灯してから行ってください。microSD カードに記録された映像が消失する場合や、破損する場合があります。
- なお、データは上書きまたは消去されますので、重要な映像は他の媒体へバックアップすることをお勧めします。

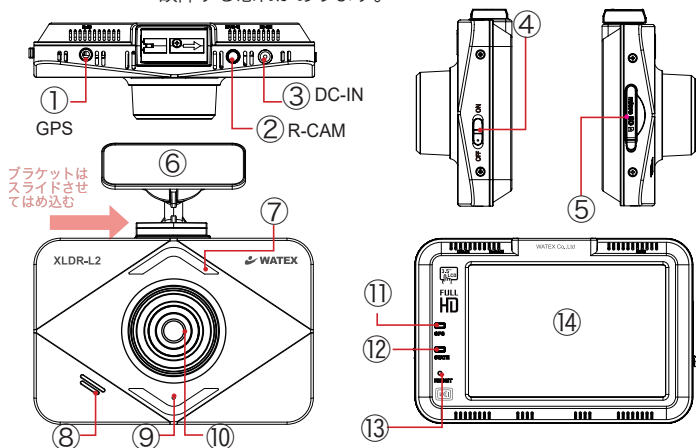


- microSD カードは指定した方向へ正しく挿入してください。
- 安定してご使用いただくため、1～2週間に一度、ドライブレコーダー本体でフォーマットすることをお勧めします。(30 ページ参照)
- microSD カードは消耗品ですので、定期的に新しい microSD カード (推奨品) への交換をお勧めします。長期間のご使用は不良セクタ多発などにより適切な記録が行われなくなる場合があります。
- microSD カードの消耗に起因する故障、または損傷については弊社では一切の責任を負いかねます。
- フォーマットは必ず本機で行ってください。

各部の名称とはたらき

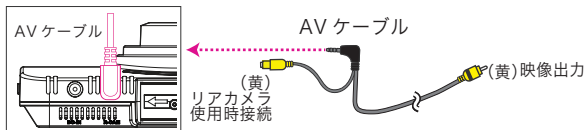
カメラ本体

※カメラの各端子には付属の専用のケーブル以外接続しないでください。
故障する恐れがあります。



- | | |
|-------------------------------|--------------------------|
| ① GPS 接続端子 (GPS) | GPS を接続 |
| ② リアカメラ接続端子 (R-CAM) | リアカメラまたは、AV ケーブルを接続 |
| ③ 電源端子 (DC-IN) | 電源ケーブルを接続 |
| ④ 電源スイッチ | 電源 ON/OFF |
| ⑤ microSD 挿入口 | |
| ⑥ 取付ブラケット (両面テープ付き) | |
| ⑦ 駐車監視 LED ランプ | 駐車モード時の状態表示ランプ |
| ⑧ スピーカー | 音声案内・警告音 (ON/OFF 可能) |
| ⑨ マイク | 録音用 (ON/OFF 可能) |
| ⑩ カメラレンズ | 録画用 (使用前にフィルムを剥がしてください。) |
| ⑪ GPS 確認 LED ランプ | GPS の受信状態表示ランプ |
| ⑫ 録画確認 LED ランプ | 録画状態を示すランプ |
| ⑬ リセットボタン | 先の細い棒などで押すとシステムを再起動 |
| ⑭ 液晶画面 | ライブ映像・録画再生、本体設定画面表示 |

オプションの AV ケーブルを使用してテレビなどで映像を再生する場合



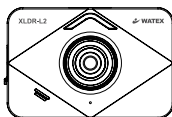
1. リアカメラ端子 (R-CAM) に AV ケーブルを接続します。
2. 映像出力をテレビなどモニターの RCA 端子に接続してください。

⚠ 注意：電源が ON の状態で AV ケーブルの抜き差しを行わないでください。

内容物の確認

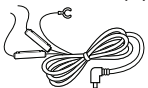
- 商品のデザイン、仕様、外観は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

セット内容 各タイプ共通



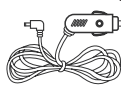
●本体カメラ

配線タイプ (B)



駐車監視可能

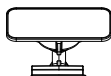
シガータイプ (S)



駐車監視不可

●取扱説明書

●保証書



●取付ブラケット
(両面テープ付き)

●電源ケーブル



●ケーブルクリップ



●microSD カード (16GB)
& カードアダプター

※ 専用ビューアーソフトと取扱説明書データが microSD カード内に保存されています。

注意：付属の microSD カードをフォーマットすると専用ビューアーソフトが消去されてしまいます。あらかじめパソコンなどにバックアップすることをおすすめします。専用ビューアーソフトは、弊社ホームページの製品ページからもダウンロードできます。

<http://www.watex-net.com/>

●GPS



●リアカメラ



赤外線なしタイプ

※赤外線なしのタイプには別途、
接続ケーブルを付属しています。



赤外線付きタイプ



オプション

- ・ microSD カード (16,32,64,128GB)
- ・ AV ケーブル

ドライブレコーダーを取り付ける

取り付け位置

- ・ルームミラーの裏側あたり、運転席から見て視界を妨げない位置
- ・フロントガラス全体の長さから見て上部20%以内の位置
- ・取り付け後もルームミラーが動かせる位置
- ・付属の microSD カードが容易に抜き差しできる位置
- ・雨天時、撮影範囲がワイパーで水滴を拭き取れる位置
- ・撮影範囲にサンシェードやフィルムがコートされていない位置
- ・地デジや ETC 等のアンテナ近くを避けた位置
- ・衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや防眩ミラーのセンサー等がルームミラー裏側にある場合、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けた位置

スマートキー電波受信機や地デジ・ラジオなどの各アンテナの近くに設置すると電波干渉が起きる場合があります。各アンテナや受信機の近くに設置しないでください。



注意

電源ケーブル（配線タイプ）の取り付けは、専門の知識が必要になります。取り付けはお買い上げの販売店または、カーディーラーにご依頼ください。

取り付け（取り外し）や配線は、専門技術者に依頼する

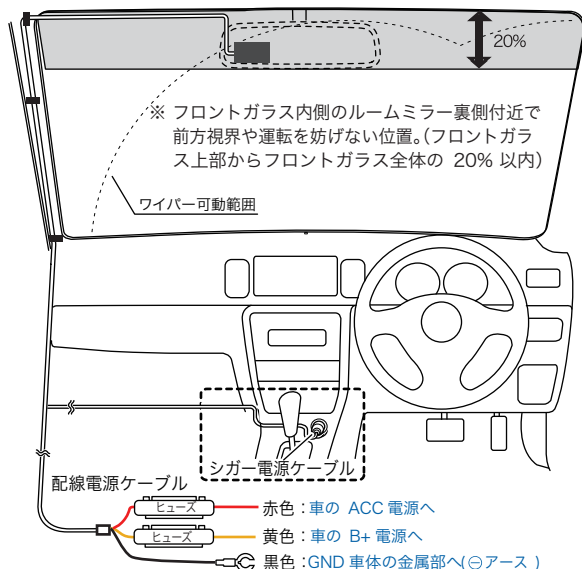


誤った取り付けや配線をした場合、車に支障をきたすことがありますので、お買い上げの販売店にご依頼ください。

必ず、付属品や指定の部品を使用する



機器の損傷や確実に固定できず、事故や故障、火災の原因となります。



電源ケーブルを運転の支障にならないよう配線してください。

●国土交通省の定める保安基準※に適合させるため必ず取付許容範囲内に取り付けてください。

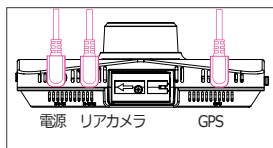
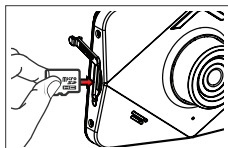
※道路運送車両の保安基準 第 29 条（窓ガラス）、細目告示第 39 条、第 117 条および第 195 条最新の保安基準は、国土交通省の Web サイトをご確認ください。

ドライブレコーダーを取り付ける (つづき)

【仮留め・テスト録画】

カメラ本体に電源ケーブル、GPS ケーブル、サブカメラ接続ケーブルを配線し、それぞれ両面テープで貼り付け設置します。両面テープは粘着力が強いため、しっかり貼り付ける前に、いったん養生テープなどで仮留めをしてテスト撮影し、液晶画面で確認してください。映像が水平に映っているか、撮影角度が上過ぎたり下過ぎたりしていないか確認してください。問題無いようであれば本取り付けを行います。

【取り付け方法】ブラケットをフロントガラスに両面テープで取り付けます。



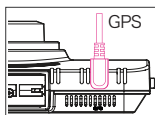
microSD カードを「カチッ」という音がするまで挿入する
両面テープのハクリ紙をはがしてブラケットを貼りつける
電源ケーブルなどを配線する

※フロントガラスを脱脂クリーナーなどできれいに清掃した後に取り付けてください。

【GPS の取り付け】(GPS 購入時)

[取り付け位置] ・ 地デジや ETC、他の GPS 等のアンテナから 10 cm 以上離れた位置
・ 自動車の機能 (エアバックや運転支援システムなど) の妨げにならない位置
・ 衛星からの電波を受信しやすい位置 (フロントガラス付近)

- ① 本体の GPS 接続端子に、GPS ケーブルを接続する



- ② GPS はダッシュボードに設置する

GPS 裏面の両面テープでダッシュボードに貼り付け
しっかり設置します。



- ③ 電源 ON 後、本体液晶画面で GPS 受信状態の確認を行う



- GPS 未接続時
- GPS 接続時
未受信状態
- GPS 接続時
受信状態

⚠ 自動車の機能 (エアバック等) の妨げにならない場所に取り付け、配線してください。事故や怪我の原因となります。ケーブルを運転の支障にならないよう配線してください。

リアカメラを設置して撮影する

(リアカメラ購入時)

1. リアカメラ接続端子へケーブルを接続して設置する

リアカメラの
ケーブルを接続



赤外線なしタイプ



赤外線付きタイプ

1. リアカメラ接続端子 (R-CAM) にリアカメラのケーブルを接続します。

※赤外線なしのタイプは接続ケーブルをリアカメラに挿入後、接続してください。

2. リアカメラを撮影したい場所に取り付けてください。

(本体の上下を確認して取り付けてください。)

リアカメラをリアガラスなどに取付ける前に下記内容を必ずご確認ください。

また、取り付け上の注意事項 (6ページ) も確認してください。

- ・リアガラスがプライバシーガラスになっている場合、夜間の記録映像は特に見えにくくなります。
- ・ワイパーが装着された車両の場合、ワイパーの拭き取り範囲内に取付けてください。範囲外に取り付けるとリアガラスの汚れ、雨天時の水滴などにより記録した映像が見づらくなることがあります。
- ・両面テープの貼付け面がリアガラスの電熱線と重ならないように取付けてください。

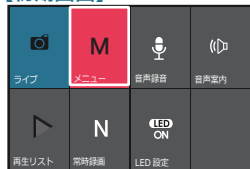
2. 設置後、本体の録画設定でリアカメラ接続を ON にする

1. リアカメラを接続後、本体液晶をタッチして、[初期画面]－[メニュー]－[録画設定]－[リアカメラ録画]を ON にしてください。

※リアカメラ録画を ON にしないと、リアカメラは録画されません。
本体カメラの録画のみ microSD カードへ保存されます。

液晶画面をタッチすると初期画面が表示されます。

【初期画面】



【メニュー画面】



【録画設定画面】



3. リアカメラのライブ映像を液晶画面で確認する

【ライブ映像画面】



リアカメラ録画 ON に設定したあと、 部分をタッチすると液晶に表示される画面が切り替わります。



(大) 本体カメラ (小) リアカメラ



本体カメラ全画面



リアカメラ全画面

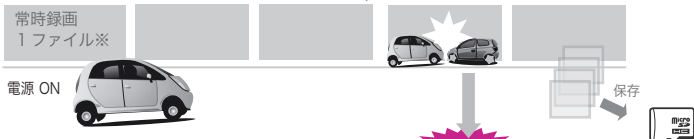
録画の種類

電源 ON で常時録画＋イベント録画がスタートします。

常時録画

電源 ON から OFF まで常に録画を続けます。microSD カードの容量がいっぱいになったら古いファイルから上書きされます。

※常時録画の 1 ファイルの容量は 80MB (1 ファイルの録画時間は画質によって異なります)



イベント (衝撃) 録画

衝撃時 (G センサーが衝撃を感知したとき)

常時録画ファイルのほかに、約 60MB のイベント録画ファイルが保存されます。
(1 ファイルの録画時間は画質によって異なります)

電源 OFF で常時録画＋イベント録画を終了します。

駐車モード 電源ケーブル (配線タイプ) のみ機能

車両のエンジン停止後、(モーションセンサー) で動体を検知したときと (G センサー) で衝撃を検知したときに録画を開始します。

モーション / 衝撃 (イベント) 録画とも約 60MB の映像ファイル (1 ファイルの録画時間は画質によって異なります)

【衝撃 (G センサー)】車が衝撃を感知すると録画を開始

【動体検知 (モーションセンサー)】車の周囲で動くものを感知して録画を開始



駐車モードに移行するには、シガー電源ではなく配線ケーブルで常時電源から電源を供給する必要があります。バッテリーの充電状況が万全でない状態で使用すると「遮断電圧設定」により駐車監視機能が動作しないことがあります。

※駐車録画による車両のバッテリー上がりに関して弊社は、一切の責任を負いません。また保証なども一切ありません。車両側のバッテリーチェックは定期的に行ってください。

microSD カードの容量がいっぱいになると、常時録画、イベント録画、モーション録画それぞれの録画領域の古いデータから上書きして新しいデータを記録します。本体起動直後や録画データの記録直後にスイッチ操作や衝撃を検出すると、記録されないことがあります。スイッチ操作または衝撃による録画データの保存中は、スイッチ操作や衝撃を検出しても、新しく記録することはできません。事故発生時の衝撃が弱い場合、衝撃による映像の記録ができない場合があります。

microSD カード内ファイル構成

microSD カードには、下記のようなファイル構成で映像ファイルおよび設定ファイルなどが保存されます。



(例1) evt0_0001_20170517_161634_1.avi
2017年5月17日16時16分34秒に1カメラでevt(イベント録画)したファイル

(例2) inf1_0234_20170518_164046_1.avi
2017年5月18日16時40分46秒に2カメラでinf(常時録画)したファイル

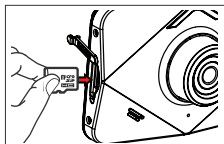
(例3) evt0_0010_20170519_161633_P.avi
2017年5月19日16時16分33秒にP(駐車モード中に)1カメラでevt(イベント録画)したファイル

(例4) moe1_0005_20170520_131633_P.avi
2017年5月20日13時16分33秒にP(駐車モード中に)2カメラでmoe(モーション録画)したファイル

ドライブレコーダーを使う

microSD カードを差し込んでエンジンをかければ、本機の電源が ON になります。電源が入ると自動的に録画がスタートします。

1) 電源を入れる前に microSD カードスロットに microSD カードを挿入する



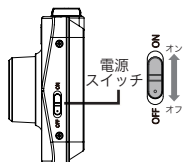
microSD カードを「カチッ」という音がするまで挿入する

❗ microSD カードの抜き差しは、必ず電源が切れている状態で行ってください。

- ・弊社が推奨する microSD カードを使用してください。
- ・microSD カードをフォーマットする場合、必ずドライブレコーダー本体でフォーマットしてください。(30 ページ参照)

2) 車のエンジンをかける (ドライブレコーダーの電源が ON になります)

手動 エンジンをかけた状態で電源スイッチを OFF にすると電源が切れます。再び、電源スイッチを ON にすると電源が入ります。電源を切ると録画されません。



初めて使用する microSD カードを挿入した場合、自動的にフォーマットされます。microSD カードにデータが入っている場合、データが全て消去されますので注意してください。

「全てのファイルが消去されます。継続しますか？」とメッセージが表示されます。「はい」をタッチするとフォーマットを開始します。

3) 常時録画を開始 (電源スイッチを ON にしておいてください)

①常時録画

車両のエンジンをかける (本体に電源が入る) と撮影を開始します。

②衝撃検知による録画 (イベント録画)

本体内部の G センサーが設定値以上の衝撃を検知した場合、前後の記録をイベント録画として保存します。(26 ページ G センサー感度設定 参照)

③録画停止

車両のエンジンを切ると自動的に録画が停止します。電源 ON 時に電源スイッチをオフにしても録画を停止します。再び電源スイッチを ON にすると電源が入って録画を再開します。

④バックアップ機能

録画中、重大事故などの外部の衝撃によって電源が遮断されても、約 1 秒間録画を続けます。

4) 駐車録画 (配線電源接続時のみ) エンジンを切ったあとに駐車モードに入ります。

①衝撃検知による録画 (イベント録画)

②動体検知による録画 (モーション録画)

※電源スイッチ ON 時のみ録画します。

ドライブレコーダーを使う (つづき)

5) 液晶画面 ライブ画面：本体起動後、録画中の画面が表示されます。



画面をタッチすると初期画面が表示されます。
初期画面 / メニュー画面中はライブをタッチするとライブ映像に戻ります。



【初期画面】



②メニューを
タッチ

【メニュー画面】



初期画面 / メニュー画面項目について

初期値

②	メニュー	カメラ設定	明るさ / 彩度	0 ~ 100 の値を調整	50
		時間設定	GPS なしの場合、手動で日時設定		—
		システム設定	遮断電圧	5 段階の遮断電圧設定 (V)	12.2
			LCD 設定時間	30 秒 / 60 秒 / ∞ (液晶表示オフ時間)	30
			TV-OUT	外部出力設定	OFF
			高温遮断	ON / OFF	ON
			音量	1 (小) / 2 (中) / 3 (大)	2
		録画設定	画質	低 / 中 / 高	高
			駐車録画	ON / OFF	ON
			リアカメラ録画	ON / OFF	ON
			録音ボリューム	1 (小) / 2 (大)	2
			モーション感度	敏感 / やや敏感 / 標準 / やや鈍感 / 鈍感	標準
			Gセンサー感度(常時)	敏感 / やや敏感 / 標準 / やや鈍感 / 鈍感	標準
			Gセンサー感度(駐車)	敏感 / やや敏感 / 標準 / やや鈍感 / 鈍感	標準
		その他	システム情報	システムの情報を表示	—
			メモリ割当	microSD への録画領域の割合選択	※
			タッチ補正	タッチパネルを補正	—
			SD フォーマット	microSD カードのフォーマット	—
			初期化	本機を工場出荷状態に戻す	—
③	音声録音	ON/OFF			ON
④	音声案内	ON/OFF			ON
⑤	再生リスト	常時、イベント、モーション録画をそれぞれ再生			—
⑥	録画状態	N 常時録画 / P 駐車録画 (現在の録画状態を表示)			—
⑦	LED 設定	ON/OFF(前面 LED ランプ駐車モード時の点滅 / 消灯)			OFF

※メモリ割当の初期値：イベント 30% モーション 20% 常時 50%

初期画面 / ライブ映像

ライブ映像中の液晶画面をタッチすると初期画面が表示されます。
画面が待機状態中は、2 回タッチしてください。

【初期画面】



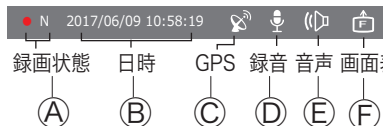
- ①ライブ映像画面へ
- ②メニュー画面へ
- ③録音 ON/OFF
- ④音声案内 ON/OFF
- ⑤再生リスト
- ⑥現在の録画状態
- ⑦LED 設定

①ライブ



タッチするとライブ映像（録画中の映像）を確認できます。
ライブ映像画面をタッチするとメニュー画面が表示されます。

【ライブ映像画面】



リアカメラ録画 ON に設定した時 (25ページ)
  部分をタッチすると液晶に表示される画面が切り替わります。⑦参照

表示の見方

① 録画状態	 録画中点減	 常時録画	 イベント録画	 駐車モード
② 日時	現在の日時（設定した日時）が表示されます			
③ GPS	 GPS 接続時 受信状態	 GPS 接続時 未受信状態	 GPS 未接続時	
④ 録音	 音声録音 ON	 音声録音 OFF		
⑤ 音声	 音声案内 ON	 音声案内 OFF		
⑥ 画面表示	 本体カメラ全画面	 (大) 本体カメラ (小) リアカメラ		 リアカメラ全画面

初期画面 / メニュー・音声録音・音声案内

【初期画面】



- ①ライブ映像画面へ
- ②メニュー画面へ
- ③録音 ON/OFF
- ④音声案内 ON/OFF
- ⑤再生リスト
- ⑥現在の録画状態
- ⑦LED 設定

【メニュー画面】



- ②メニュー タッチするとメニュー画面に進みます。カメラ設定・時間設定・システム設定・録画設定・その他の設定を行います。(21～31 ページ参照)

- ③ 音声録音 タッチして音声録音 ON/OFF を切り換えます。



- ④ 音声案内 タッチして音声案内 ON/OFF を切り換えます。



音声案内が ON になっている時に下記の音声案内をします。

ドライブレコーダーの状態	音声案内
録画開始時 (常時録画 + イベント録画時)	常時録画を開始いたしました。
駐車録画開始時	駐車録画を開始いたしました。
衝撃検知 (イベント) 時	ピンポーン
録画終了 (電源 OFF)	終了いたします。
microSD カードが入っていない / microSD カードエラー	SD カードを確認してください。
リアカメラ録画 ON 設定で リアカメラを接続してない時	ピンポーン

初期画面 / 録画映像を本体で再生する

【初期画面】

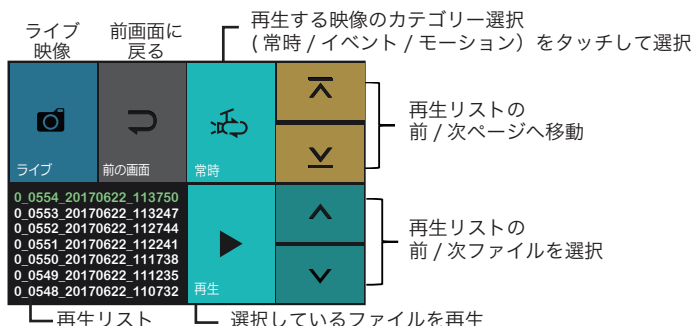


- ①ライブ映像画面へ
- ②メニュー画面へ
- ③録音 ON/OFF
- ④音声案内 ON/OFF
- ⑤再生リスト
- ⑥現在の録画状態
- ⑦LED 設定



⑤ 再生リスト 記録した映像を液晶画面で再生する

再生リストをタッチして再生リストから録画映像を選択します。



▶再生画面



[タッチして操作]

- ①再生を中止し、録画を開始
- ②前の画面に戻る
- ③2カメラ再生切り替え (F=フロント、R=リア、F/R=2画面) 1カメラのときはFのままです。
- ④ひとつ前のファイルを再生
- ⑤再生 / 一時停止
- ⑥次のファイルを再生

初期画面 / 録画状態・録画情報・LED 設定

【初期画面】



- ① ライブ映像画面へ
- ② メニュー画面へ
- ③ 録音 ON/OFF
- ④ 音声案内 ON/OFF
- ⑤ 再生リスト
- ⑥ 現在の録画状態
- ⑦ LED 設定

⑥ 録画状態の表示



現在の録画状態が表示されます。
タッチしても録画状態は変わりません。
N：常時録画中
P：駐車モード中

⑦ LED ランプ (前方) の駐車モード時の点灯 / 消灯の選択



タッチすると前面の LED ランプ
の点灯 / 消灯が選択できます。
ON：LED 点灯
OFF：LED 消灯

※前面の駐車監視 LED ランプは駐車モード中のみ点灯（点滅）します。



メニュー画面 / カメラ設定 (明るさ・彩度)

【初期画面】



メニュー



初期画面のメニューをタッチするとメニュー画面が表示されます。カメラ設定、時間設定、システム設定、録画設定、その他の設定が行えます。

【メニュー画面】



- ① ライブ映像画面へ
- ② 前の画面へ (初期画面に戻る)
- ③ カメラ設定**
- ④ 時間設定
- ⑤ システム設定
- ⑥ 録画設定
- ⑦ その他

③ カメラ設定



カメラ設定をタッチすると録画映像の明るさ・彩度が調整できます。0～100まで設定できます。

タッチするたびに明るさと彩度が切り替わります。

ライブ映像画面へ

メニュー画面に戻る



タッチすると明るさ / 彩度が 100 になります。

タッチすると明るさ / 彩度が 0 になります。

タッチすると 10 ずつ 明るさ / 彩度が上がります。

タッチすると 10 ずつ 明るさ / 彩度が下がります。

メニュー画面 / 時間設定

【初期画面】



初期画面のメニューをタッチするとメニュー画面が表示されます。カメラ設定、時間設定、システム設定、録画設定、その他の設定が行えます。

【メニュー画面】



- ①ライブ映像画面へ
- ②前の画面へ（初期画面に戻る）
- ③カメラ設定
- ④時間設定**
- ⑤システム設定
- ⑥録画設定
- ⑦その他

④ 時間設定



GPS に接続していない場合は、手動で日時を設定してください。初めに日付を設定します。

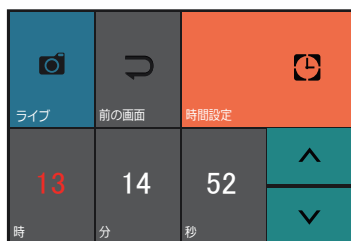
タッチすると次の画面（時間設定）へ移動します。

ライブ映像画面へ
メニュー画面に戻る



日時設定

年 / 月 / 日をタッチしてから
△▽で日付の数字を合わせます。



時間設定

時 / 分 / 秒をタッチしてから
△▽で時間の数字を合わせます。

【初期画面】

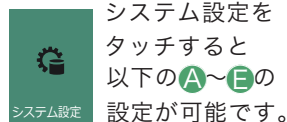


カメラ設定、時間設定、システム設定、録画設定、その他の設定が行えます。

【メニュー画面】



⑤ システム設定



ライブ映像画面へ メニュー画面に戻る



各設定をタッチして選択します。

A 遮断電圧 (電源配線タイプのみ設定可能)

駐車モード時に車両バッテリーの過放電を遮断する電圧を設定します。設定電圧よりバッテリー電圧が低くなると電源供給を遮断します。

【選択値】 11.4V (23.1) / 11.6V (23.4) /

11.8V (23.7) / 12.0V (24.0) / 12.2V (24.3)

※ () 内の数値は、24V 車の遮断電圧を示します。



タッチするたびに電圧表示が変わります。タッチして遮断電圧を選択してください。

【初期画面】

【メニュー】

システム設定

ライブ映像
画面へ

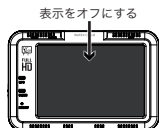
メニュー
画面に戻る



各設定をタッチして選択します。

B LCD 設定時間

液晶表示



一定時間操作を行わなかった場合
液晶表示をオフにする設定です。



【選択値】 30 秒 / 60 秒 / ∞ (液晶画面をオフにしない)

※駐車モード時は、時間設定に関係なく 10 秒後に液晶表示オフになります。

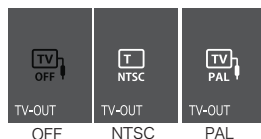
C TV-OUT

外部出力する場合はオプションの
AV ケーブルが必要になります。

外部出力を行うときは TV-OUT を NTSC
に選択してください。外部に出力しな
いときは OFF にしてください。

※OFF 以外になっているとライブ画面が液晶に表示されません。

外部出力機器での再生方式は NTSC 方式 (日本などで使用されている) を選択してください。
再生方式が PAL 方式 (ヨーロッパなどで使用されている) の場合は、PAL 方式を選択する必要があります。



D 高温遮断 (電源配線タイプのみ設定可能)

(駐車モード時) 車内が高温になったとき

ON : 電源供給を遮断

OFF : 電源供給を遮断しない



E 音量

音声案内の音量設定

【選択値】 1 (小) / 2 (中) / 3 (大)



メニュー画面 / 録画設定

画質・リアカメラ録画設定・録音ボリューム・
モーション感度・G センサー感度

【初期画面】



メニュー



初期画面のメニューをタッチするとメニュー画面が表示されます。カメラ設定、時間設定、システム設定、録画設定、その他の設定が行えます。

【メニュー画面】



- ① ライブ映像画面へ
- ② 前の画面へ（初期画面に戻る）
- ③ カメラ設定
- ④ 時間設定
- ⑤ システム設定
- ⑥ 録画設定
- ⑦ その他

⑥ 録画設定

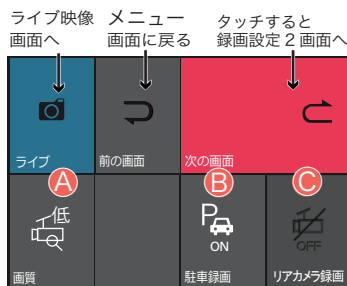


録画設定をタッチすると画質、リアカメラ録画、[次の画面] 録音音量、モーション感度、G センサー感度（常時・駐車）の設定が可能です。

録画設定 1 録画設定 1 の画面では下記の設定が行えます。

画質の設定を変更する場合は変更後、本体で microSD カードをフォーマットして電源スイッチを ON/OFF してください。（録画ファイルが削除されますのであらかじめ録画データは保存してください）

A 画質の設定



【選択値】 低 / 中 / 高

画質によって録画時間が変わります。
34 ページ「録画時間の目安」参照

B 駐車録画（電源配線タイプのみ設定可能）



【選択値】 ON / OFF

ON : 駐車録画をする
OFF : 駐車録画をしない

C リアカメラ録画



【選択値】 ON / OFF

リアカメラ接続時は必ず
ON に設定してください。

録画設定 1

メニュー画面 / 録画設定

〔画質・リアカメラ録画設定・録音ボリューム・
モーション感度・Gセンサー感度〕

【初期画面】

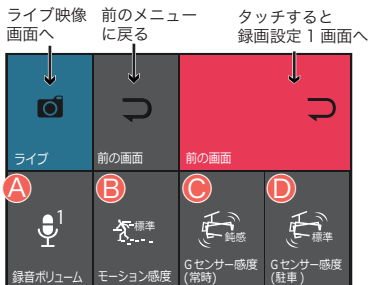
【メニュー】

録画設定

録画設定2

録画設定2の画面では
下記の設定が行えます。

各設定をタッチして選択します。



録画設定2

A



録音ボリューム設定

【選択値】 1 (小) / 2 (大)

B



(電源配線タイプのみ設定可能)

モーション感度設定 (駐車モード中)

【選択値】 敏感 / やや敏感 / 標準 / やや鈍感 / 鈍感

駐車モード時のモーション (動体検知) の感度を設定

C



Gセンサー感度設定 (常時録画中)

【選択値】 敏感 / やや敏感 / 標準 / やや鈍感 / 鈍感

常時録画時のGセンサー (衝撃検知) の感度を設定

D



(電源配線タイプのみ設定可能)

Gセンサー感度設定 (駐車モード中)

【選択値】 敏感 / やや敏感 / 標準 / やや鈍感 / 鈍感

駐車モード時のGセンサー (衝撃検知) の感度を設定

メニュー画面 / その他 [システム情報]

【初期画面】



初期画面のメニューをタッチするとメニュー画面が表示されます。カメラ設定、時間設定、システム設定、録画設定、その他の設定が行えます。

【メニュー画面】



- ① ライブ映像画面へ
- ② 前の画面へ (初期画面に戻る)
- ③ カメラ設定
- ④ 時間設定
- ⑤ システム設定
- ⑥ 録画設定
- ⑦ その他

⑦ その他



その他をタッチするとシステム情報、メモリ割当、タッチ補正、SD フォーマット、初期化が行えます。

ライブ映像画面へ
メニュー画面に戻る



A システム情報

システム情報をタッチすると、

- ・バージョン情報
- ・G センサー情報
- ・内部温度
- ・電圧・日時などの情報が確認できます。

メニュー画面 / その他 [メモリ割り当て]

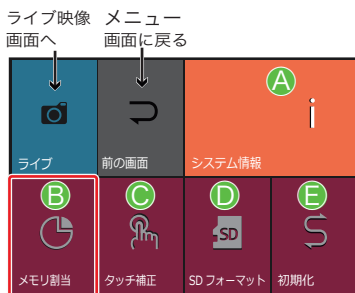
【初期画面】

【メニュー】

その他



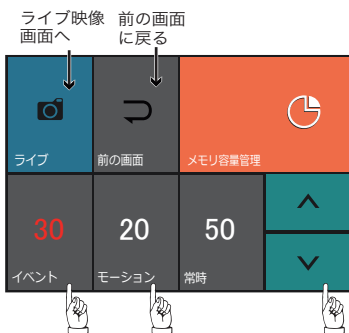
各設定をタッチして
選択します。



B メモリ割当



microSD カードのメモリー領域を 3 分割（イベント・
モーション・常時）の割り当てを変更することができます。



イベントまたはモーションをタッチして△▽で割り当てを変更します。
※選択した録画種類の割合の増減に応じて「常時」の割合が増減します。

※割り当てを変更するとメモ리카ード内のデータが消去されます。
(microSD カードがフォーマットされます。) 設定を変更する
前に必要な映像を PC に保存することをお勧めします。

microSD カードのフォーマット終了後、録画を開始します。

※「モーション」は電源が配線タイプのみ録画できます。

※「イベント」は常時録画中と駐車録画中（配線電源のみ）の衝撃時の録画映像です。

メニュー画面 / その他 [タッチ補正]

【初期画面】

【メニュー】

その他



各設定をタッチして
選択します。

ライブ映像
画面へ

メニュー
画面に戻る



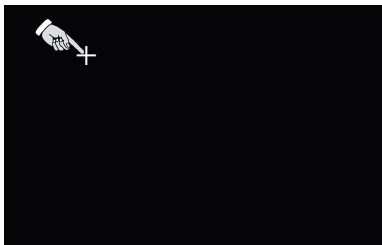
③ タッチ補正



タッチパネルのタッチ位置を補正します。

画面上の目的の位置をタッチした後、適切な選択ができない
ときに使用します。

1. 「画面をタッチしてください」と表示されたら、画面をタッチします。
2. 「+」マークが場所を変えて4カ所に表示されるので、順に「+」の交点を正確にタッチします。



3. 「設定を保存しますか？」と確認画面が表示されたら「はい」をタッチします。※もう一度やりなおしたい場合は「いいえ」をタッチしてください。

メニュー画面 / その他 [SD フォーマット]

【初期画面】

【メニュー】

その他



その他

各設定をタッチして
選択します。

ライブ映像
画面へ

メニュー
画面に戻る

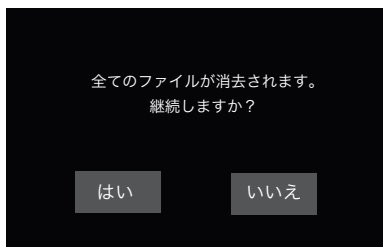


D SD フォーマット

microSD カードをフォーマットします。

「全てのファイルが消去されます。継続しますか？」と確認画面が表示されますので「はい」をタッチしてください。

※フォーマットしない場合は「いいえ」をタッチしてください。



※フォーマットする前に必要な映像を PC に保存することをお勧めします。
microSD カードのフォーマット終了後、録画を開始します。

※ 安定してご使用いただくため、microSD カードは 1 ～ 2 週間に 1 回フォーマットすることをお勧めします。

メニュー画面 / その他 [初期化]

【初期画面】

【メニュー】

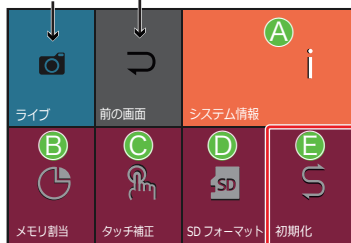
その他



各設定をタッチして
選択します。

ライブ映像
画面へ

メニュー
画面に戻る

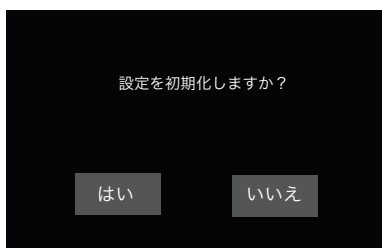


E 初期化

ドライブレコーダー本体を工場出荷状態にします。
設定した値がすべて初期化されます。

「設定を初期化しますか？」と確認画面が表示されますので「はい」をタッチしてください。

※初期化しない場合は「いいえ」をタッチしてください。



※設定の初期化を実行し再起動します。その後、録画を開始します。

システムをアップデートする

ファームウェアのアップデート方法

本機のシステムファームウェアを更新します。アップデートに関する情報は、
当社ホームページ URL : <http://www.watex-net.com/> をご覧ください。

1. ホームページから指定された「updater.bin」ファイルをダウンロードします。
2. ダウンロードした「updater.bin」を microSD カードにコピーしてください。
3. ファイルコピーした microSD カードをドライブレコーダー本体に 挿入し
電源を ON にします。自動でファームウェアのアップデートを行います。
(アップデート後、ドライブレコーダーは再起動し、常時録画を 開始します。)

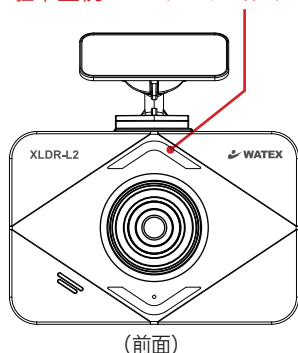
※アップデート中に本機の電源を切らないでください。

※更新情報がない場合はホームページに掲載されません。

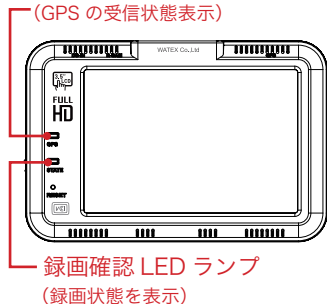
LED ランプについて

●各 LED ランプの表示内容

駐車監視 LED ランプ (駐車モード時の状態表示)



GPS 確認 LED ランプ
(GPS の受信状態表示)



LED表示の内容

状 態	駐車監視 LED (前面)	録画確認 LED		GPS 確認 LED
		1 カメラの場合	2 カメラの場合	
起動中	白点灯	赤 / 橙点灯	赤 / 橙点灯	赤 / 橙点灯
ファームウェア アップデート中	白点灯	赤点灯	赤点灯	赤点灯
常時録画中 / イベント待機時	消灯	赤点滅 (2.5 秒間隔)	緑点滅 (2.5 秒間隔)	GPS 受信中 : 緑点灯
常時録画中 イベント衝撃検知時	消灯	赤点滅 (0.5 秒間隔)	緑点滅 (0.5 秒間隔)	GPS 未受信 : 橙点灯
駐車モード中 イベント衝撃検知時	白点滅 (0.5 秒間隔)	赤点滅 (0.5 秒間隔)	緑点滅 (0.5 秒間隔)	消灯
駐車モード中 モーション録画時	白点滅 (0.25 秒間隔)	赤 / 緑交互点灯 (0.5 秒間隔)	赤 / 緑交互点灯 (0.5 秒間隔)	
駐車モード待機中	0.5 秒間隔で 左右パターン点灯	赤 / 緑交互点灯 (1.5 秒間隔)	赤 / 緑交互点灯 (1.5 秒間隔)	
microSD カード未挿入 / カードエラー時	消灯	消灯	消灯	

録画時間の目安

1 カメラ（本体カメラのみ）で撮影時

●各設定録画時間は目安です。

初期設定のメモリ割り当て

常時録画：50% モーション録画：20% イベント録画：30%

micro SD	フレームレート (画質)	録画時間		
		常時録画	モーション	イベント
16 GB	30fps(高)	1 時間 20 分	30 分	45 分
	15fps(中)	3 時間	30 分	45 分
	10fps(低)	6 時間 10 分	30 分	45 分
32 GB	30fps(高)	2 時間 40 分	1 時間	1 時間 30 分
	15fps(中)	6 時間	1 時間	1 時間 30 分
	10fps(低)	12 時間 20 分	1 時間	1 時間 30 分
64 GB	30fps(高)	5 時間 20 分	2 時間	3 時間
	15fps(中)	12 時間	2 時間	3 時間
	10fps(低)	24 時間 40 分	2 時間	3 時間
128 GB	30fps(高)	10 時間 40 分	4 時間	6 時間
	15fps(中)	24 時間	4 時間	6 時間
	10fps(低)	49 時間 20 分	4 時間	6 時間

常時録画重視 のメモリ割り当て

常時録画：80% モーション録画：10% イベント録画：10%

micro SD	フレームレート (画質)	録画時間		
		常時録画	モーション	イベント
16 GB	30fps(高)	2 時間 10 分	15 分	15 分
	15fps(中)	5 時間	15 分	15 分
	10fps(低)	10 時間	15 分	15 分
32 GB	30fps(高)	4 時間 20 分	30 分	30 分
	15fps(中)	10 時間	30 分	30 分
	10fps(低)	20 時間	30 分	30 分
64 GB	30fps(高)	8 時間 40 分	1 時間	1 時間
	15fps(中)	20 時間	1 時間	1 時間
	10fps(低)	40 時間	1 時間	1 時間
128 GB	30fps(高)	17 時間 20 分	2 時間	2 時間
	15fps(中)	40 時間	2 時間	2 時間
	10fps(低)	80 時間	2 時間	2 時間

※ 画質（フレームレート）の設定は、25 ページ参照

※ メモリ割り当ての設定は、28 ページ参照

録画時間の目安 2カメラ（本体カメラ＋リアカメラ）で撮影時

●各設定録画時間は目安です。

初期設定のメモリ割り当て

常時録画：50% モーション録画：20% イベント録画：30%

micro SD	フレームレート 本体 / リア (画質)	録画時間		
		常時録画	モーション	イベント
16 GB	25/30fps(高)	55 分	20 分	30 分
	15/15fps(中)	1 時間 40 分	30 分	45 分
	10/10fps(低)	2 時間 30 分	30 分	45 分
32 GB	25/30fps(高)	1 時間 50 分	40 分	1 時間
	15/15fps(中)	3 時間 20 分	1 時間	1 時間 30 分
	10/10fps(低)	5 時間	1 時間	1 時間 30 分
64 GB	25/30fps(高)	3 時間 40 分	1 時間 20 分	2 時間
	15/15fps(中)	6 時間 40 分	2 時間	3 時間
	10/10fps(低)	10 時間	2 時間	3 時間
128 GB	25/30fps(高)	7 時間 20 分	2 時間 40 分	4 時間
	15/15fps(中)	13 時間 20 分	4 時間	6 時間
	10/10fps(低)	20 時間	4 時間	6 時間

常時録画重視のメモリ割り当て

常時録画：80% モーション録画：10% イベント録画：10%

micro SD	フレームレート 本体 / リア (画質)	録画時間		
		常時録画	モーション	イベント
16 GB	25/30fps(高)	1 時間 30 分	10 分	10 分
	15/15fps(中)	2 時間 40 分	15 分	15 分
	10/10fps(低)	4 時間	15 分	15 分
32 GB	25/30fps(高)	3 時間	20 分	20 分
	15/15fps(中)	5 時間 20 分	30 分	30 分
	10/10fps(低)	8 時間	30 分	30 分
64 GB	25/30fps(高)	6 時間	40 分	40 分
	15/15fps(中)	10 時間 40 分	1 時間	1 時間
	10/10fps(低)	16 時間	1 時間	1 時間
128 GB	25/30fps(高)	12 時間	1 時間 20 分	1 時間 20 分
	15/15fps(中)	21 時間 20 分	2 時間	2 時間
	10/10fps(低)	32 時間	2 時間	2 時間

※ 画質（フレームレート）の設定は、25 ページ参照

※ メモリ割り当ての設定は、28 ページ参照

製品仕様

外形寸法	(W) 約 105×(H) 約 70×(D) 約 37mm	重 量	約 135 g
カメラ素子	500 万画素 C-MOS センサー	映像ファイル形式	AVI
カメラ画角	水平 92° 垂直 67° 対角度 120°		
録画解像度	FHD(1920×1080)		
記録方式	常時録画 / イベント録画 / モーション録画 (古いファイルから上書き)		
映像再生方法	本体液晶 / 専用ビューアー (Windows7/8/8.1/10) / AV 出力		
常時録画	1 ファイル 約 80MB	音声録音	ON / OFF 可能
イベント / モーション録画	1 ファイル 約 60MB	音声案内機能	ON / OFF 可能
電源遮断機能	あり (バッテリー保護)	高温自動遮断	ON / OFF 可能
駐車モード	配線電源のみ対応 (イベント録画 / モーション録画) ON / OFF 可能		
スピーカー出力	ON / OFF 可能	電源電圧	DC12V/24V
G センサー	3 軸、加速度センサー	動作温度範囲	-20℃～+70℃
記録媒体	microSD カード 16GB～128GB 対応 (16GB 付属)	保存温度範囲	-20℃～+85℃
		電源バックアップ	電源断後約 1 秒間
液晶サイズ	3.5 インチ touch LCD	液晶解像度	480×320
付属品	電源ケーブル (シガーまたは配線タイプ) / ブラケット (両面テープ付) / microSD カード (16GB) [microSD カード内に専用ビューアー、取扱説明書] / カードアダプター / ケーブルクリップ 4 個 / 保証書 / GPS【XLDR-L2KG シリーズのみ】 リアカメラ (赤外線なし) XLDR-L2S-R/XLDR-L2KG-R/ XLDR-L2GS-R/XLDR-L2GKG-R リアカメラ (赤外線付き) XLDR-L2S-IR/XLDR-L2KG-IR XLDR-L2GS-IR/XLDR-L2GKG-IR		
オプション	microSD カード (16、32、64、128GB) /AV ケーブル		

●リアカメラ仕様表

仕様	赤外線付きサブカメラ (ケーブル 2m)	赤外線なしサブカメラ (ケーブル 6m)
外形寸法	約 45×22×37 mm	約 49×29×32 mm
重量	約 25 g	約 22 g
カメラ画素	HD (1280×720)	HD (1280×720)
画角	対角 125°/ 水平 100°/ 垂直 62°	対角 123°/ 水平 89°/ 垂直 64°

2 カメラ対応バージョン

XLDR-L2 ビューアー説明書

インストールの前に

インストールの前に、お使いのパソコンが次の条件に合っているかどうかを確認してください。

- ・ ハードディスクに、使用する microSD カードの容量を超える空きがあること
- ・ OS が、Windows 7、8、8.1、10 (32bit/64bit) であること

目 次

準備しましょう

ビューアーのインストール方法	3
----------------------	---

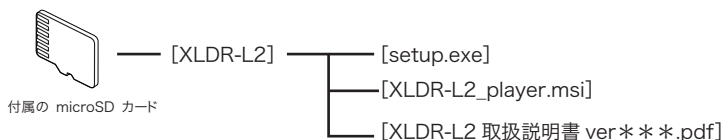
使ってみましょう

基本操作	5
ビューアー画面の見方	6
ファイルの再生操作	7
2 カメラの動画ファイルを分離してパソコンへ保存	8

その他の機能

ドライブレコーダー本体の各種設定変更	9
ビューアーの各種設定の変更	11

専用ビューアーソフトと取扱説明書は、付属の microSD カードに保存しています。



付属の microSD カードをフォーマットするとプログラムが消去されてしまいます。
あらかじめパソコンなどにバックアップすることをおすすめします。

* 付属の microSD カードを紛失、フォーマットしてしまった場合は、弊社
ホームページよりプログラム、取扱説明書をダウンロードしてください。

ビューアーのインストール方法

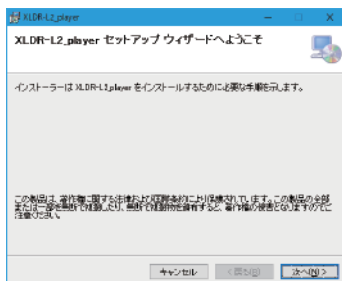
付属の microSD カードにビューアーが保存されています。

1 専用ビューアーが格納された付属の microSD カードをパソコンにセットする。

* 付属の microSD カードを紛失、フォーマットしてしまった場合は、弊社ホームページよりダウンロードしてください。

2 microSD カードを開き「XLDR-L2」フォルダの中の「setup.exe」をダブルクリックする。

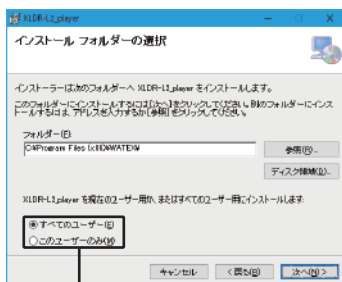
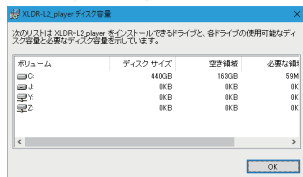
3 セットアップ画面が表示されたら、 [次へ] ボタンをクリック



4 インストール先フォルダを確認して [次へ] ボタンをクリック

ディスク領域(D:)

ディスク領域ボタンをクリックするとパソコンのディスクの空き容量が確認できるので、インストール先を変更する際に参考にしてください。

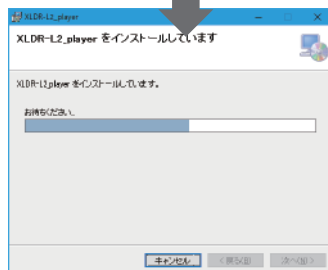
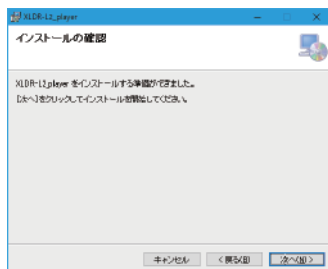


インストールするパソコンのすべてのユーザーが使用するので ログインユーザーのみが使用するのを選択できます。

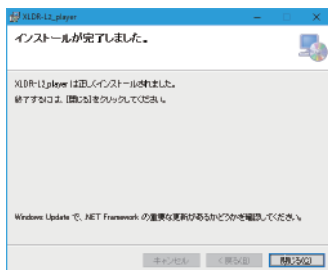
5 インストール画面が表示されたら、 [次へ] ボタンをクリック

[キャンセル] ボタンをクリックすると
セットアップは中断されます。

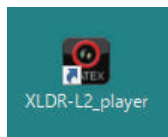
[戻る] ボタンをクリックすると一つ前
の画面に戻ります。



6 [閉じる] ボタンをクリック



7 ショートカットがパソコンの デスクトップ上に作成される

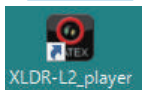


基本操作

ビューアーの起動

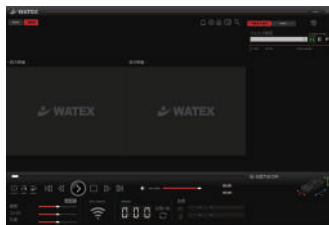
- 1 インストールした専用のビューアーソフト「XLDR-L2_player」のアイコンをダブルクリックしてビューアーを起動する

ダブルクリック



ドライブレコーダー「XLDR-L2」
専用ビューアーのアイコン

ビューアーの言語設定は、
ビューアー環境設定ボタンの言語選択で
日本語に設定してください。(11 ページ②参照)
※初めに言語設定を日本語にすることをお勧めします。

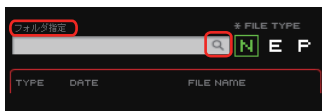


ドライブレコーダー XLDR-L2 専用ビューアーが
起動します。

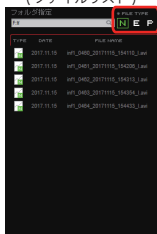
ファイルの読み込み

ドライブレコーダーで録画したファイルをビューアーに読み込みます。
あらかじめ録画ファイルが入った microSD カードを用意しておきます。

- 1 録画ファイルの入った microSD カードをパソコンにセットする。
- 2 ビューアーを起動する。
- 3 フォルダ指定の Q をクリックする。



録画ファイルがビューアーに読み込まれ、ファイルリストに常時録画のみ表示されます。
(ファイルリスト)



*FILE TYPE

見たい録画種類のファイルタイプをクリックします。

選択すると□で囲まれ色表示されます。

クリックするたびに表示 / 非表示が切り替わります。



選択していない状態

すべて選択した場合

常時録画以外選択した場合

N= 常時録画

E= イベント録画 (常時録画中 / 駐車録画中)

P= モーション録画 (駐車録画中)

- 4 ファイルリストから再生するファイルを選んでダブルクリックする。
録画ファイルの再生が開始されます。

ビューアー画面の見方

ビューアー画面について



① 再生画面 録画映像を再生します。

再生画面（左：前方カメラ、右：リアカメラ）どちらかをダブルクリックすると1画面表示になります。また、1画面表示をダブルクリックすると全画面表示になります。

② ビューアー環境設定ボタン

ビューアーの設定調整を行うための画面を表示します。

③ 動作環境設定ボタン

ドライブレコーダー本体の設定調整をおこなうための画面を表示します。付属の microSD カードが必要です。

④ 画面印刷ボタン（GPS 接続時のみ使用可能）

再生画面をプリンターで印刷します。
現在再生中の映像を一時停止してから押してください。

⑤ 画面保存ボタン

現在表示中の映像をキャプチャーして静止画ファイル(JPEG)として保存します。付属先は 11 ページ①参照で変更できます。

⑥ ズーム画面ボタン

ズーム画面を開きます。再生画面にマウスを合わせた部分がズーム画面に表示されます。

⑦ 最小化ボタン

ビューアー画面を最小化します。

⑧ 終了ボタン

ビューアーを終了します。

⑨ FILE LIST/MAP 切替ボタン

FILE LIST(再生ファイル一覧)/MAP の表示を切り換えます。
*GPS 接続時のみ Google マップが表示されます。

⑩ フォルダ指定 /FILE TYPE

(フォルダ指定) 5 ページ参照
録画ファイルのフォルダを選択します。micro SD カードを挿入している場合、自動的に選択されます。
(FILE TYPE) 5 ページ参照
再生するファイルの種類を選択します。

⑪ FILE LIST

再生ファイル一覧が表示されます。

⑫ MAP

GPS 接続時のみ Google マップが表示されます。

⑬ シークバー

現在の再生位置を表示、変更します。

⑭ 再生操作ボタン

再生したファイルの操作を行います。(詳細は 7 ページで説明)

⑮ 音量調整バー

再生音量を調整します。

⑯ 画面調整バー

ビューアーの再生画面の輝度・コントラスト・彩度を調整できます。

RESET RESET ボタンで初期値に戻ります。

⑰ GPS 受信状態

GPS の接続状態を表示します。(接続時：橙色表示)

⑱ 速度

GPS 接続時のみ速度が表示されます。

⑲ 座標値

GPS 接続時のみ緯度・経度が表示されます。

⑳ G センサー値

3G センサーで記録した、走行時の揺れや衝撃などをグラフで表示します。

㉑ 1CH/2CH

1CH=1 カメラ(本体カメラのみ)、
2CH=2 カメラの画面表示ができます。

お買い求めのカメラ数に応じて変更してください。

ファイルの再生操作

ファイルの再生中の操作

映像の再生中、再生操作ボタンを使用して、画面を操作することが可能です。

そのほかにも、音量調整バーや画面調整バーで映像の画面、音量を調整できます。(6 ページ⑮⑯参照)



再生操作ボタン



※①～③の画面操作は、2画面の場合、最初に(・前方映像 / 後方映像)の左右どちらかをクリックしてから行ってください。

① 画面の拡大



再生している映像を全画面表示にします。
パソコンのキーボードの (Esc) キーを押すことで元の画面表示に戻すことができます。
再生画面をダブルクリックしても全画面表示になります。
全画面表示をダブルクリックしても元に戻ります。

② 左右反転



再生している映像の左右を逆にします。

③ 上下反転



再生している映像の上下を逆にします。

④ 前のファイルを再生



ひとつ前のファイルを再生します。

⑤ 5秒前を再生



再生している映像の5秒前を再生します。

⑥ 再生 / 一時停止



動画を再生または一時停止します。
再生中は一時停止ボタンに変わります。

⑦ 停止



再生している映像を停止します。

⑧ 5秒後を再生



再生している映像の5秒後を再生します。

⑨ 次のファイルを再生

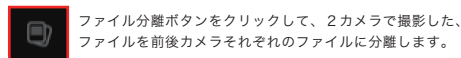
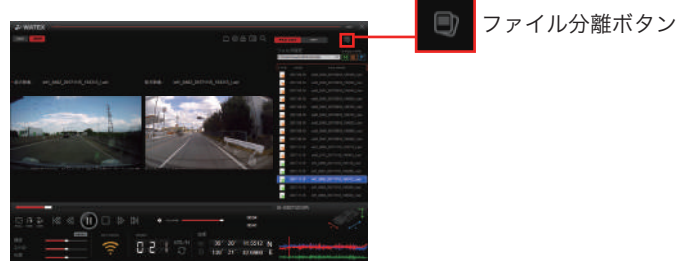


ひとつ後のファイルを再生します。

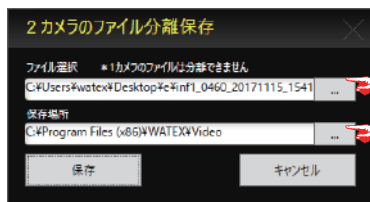
2 カメラの動画ファイルを分離してパソコンへ保存

2 カメラの動画ファイルを、前後カメラそれぞれを2つのファイルに分離してパソコンに保存します。

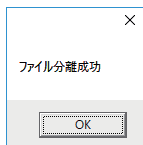
※ 1 カメラのみで撮影の場合は使用できません。



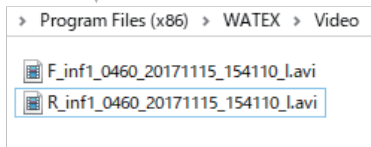
ファイル分離ボタンをクリックして、2カメラで撮影した、
ファイルを前後カメラそれぞれのファイルに分離します。



確認後、保存ボタンをクリック
ファイル分離成功ウィンドウが
表示されます。



指定した保存先に
F_前方カメラ映像
R_リアカメラ映像
が保存されます。



ドライブレコーダー本体の各種設定変更

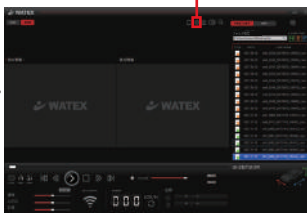


動作環境設定ボタン

【基本設定】【システム設定】

* microSD カードのフォルダを指定してから行ってください。

5 ページ 3. フォルダ指定 参照



ドライブレコーダー本体の設定をビューアソフトを使って変更することができます。設定を変更するには、付属の microSD カードが必要です。あらかじめご用意ください。ドライブレコーダー本体でも設定の変更がおこなえます。詳しくは、本体編の説明書をご覧ください。1CH=1カメラ(本体カメラのみ)、2CH=2カメラの表示ができます。

* 動作環境設定 (Setup) 画面を閉じるときに保存ボタンを押さないと基本設定、システム設定の変更は反映されません。

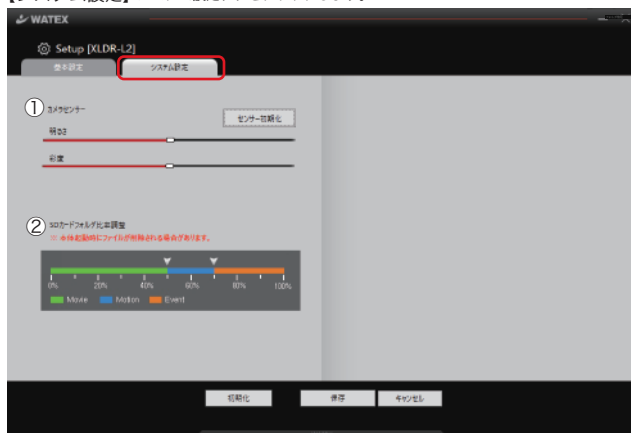
【基本設定】基本設定タブをクリックします。



設定選択内容一覧 * 初期化ボタンをクリックすると初期値に戻ります。

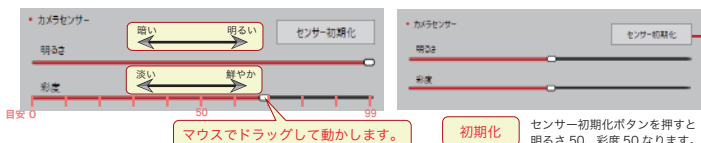
- | | |
|---|---|
| ① 画質 (初期値: 高画質)
高画質 / 中画質 / 低画質 | ⑦ LCD 設定時間 (初期値: 30 秒)
30 秒 / 60 秒 / ∞ (液晶表示 OFF しない) |
| ② モーション感度 (初期値: 3)
1 (敏感) / 2 / 3 / 4 / 5 (鈍感) | ⑧ 前方 LED 設定 (初期値: ON)
はい (ON) / いいえ (OFF) |
| ③ G センサー感度 (常時) (初期値: 3)
1 (敏感) / 2 / 3 / 4 / 5 (鈍感) | ⑨ 遮断電圧 (初期値: 12.2(24.3)V)
11.4(23.1)V / 11.6(23.4)V / 11.8(23.7)V
12.0(24.0)V / 12.2(24.3)V |
| ④ G センサー感度 (駐車) (初期値: 3)
1 (敏感) / 2 / 3 / 4 / 5 (鈍感) | ⑩ 録画チャンネル (初期値: 2CH)
1CH / 2CH ※2カメラ使用時は必ず2CHを選択してください。
1CHになっていると、本体カメラの録画しか行えません。 |
| ⑤ 音声案内音量 (初期値: 2)
1 (小) / 2 / 3 (大) | ⑪ 駐車録画 (初期値: ON)
ON / OFF ※OFFになっていると、駐車録画が行えません。 |
| ⑥ 録音ボリューム (初期値: 2)
1 (小) / 2 / 3 (大) | |

【システム設定】システム設定タブをクリックします。



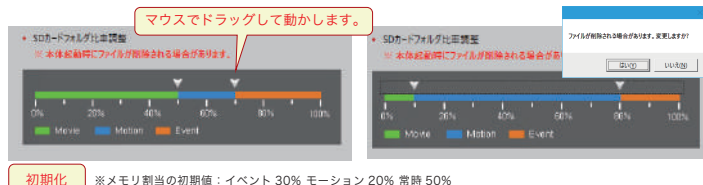
①カメラセンサー

ドライブレコーダー本体のカメラの明るさ、彩度を調整します。真ん中が50、左端が0、右端が99で手動で設定できます。



②SDカードフォルダ録画比率調整

microSD カードの録画比率割り当てを設定します。比率を変更した後、「ファイルが削除される場合があります。変更しますか？」と聞かれますので「はい」を選択すると、次回ドライブレコーダーに microSD カードを挿入したときに、microSD カードがドライブレコーダー本体でフォーマットされます。(録画データが削除されますので必要なデータはパソコンなどに保存してください)「いいえ」を選択すると、比率が変更されません。また、動作環境設定 (Setup) 画面を閉じるときに保存ボタンを押さないとシステム設定の変更は反映されません。



ビューアーの各種設定の変更

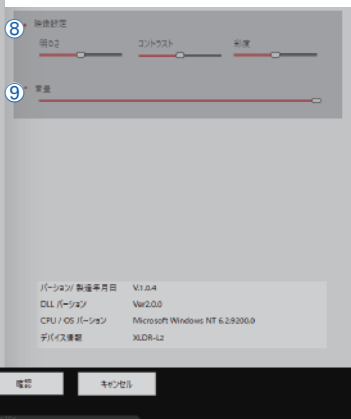
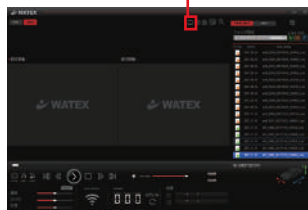


ビューアー環境設定ボタン

ビューアー画面の設定を行います。

＊再生映像を停止した状態でボタンを押してください。

＊画面を閉じるときに確認ボタンを押さないと変更は反映されません。



設定選択内容一覧 ＊初期化ボタンをクリックすると初期値に戻ります。

① JPEG 保存場所 (初期値: インストール先フォルダ / Jpeg)

静止画を保存したい場所を選択します。
静止画保存については (6ページ⑤)画面キャプチャボタン参照)

② 言語選択 (初期値: 日本語)

English / 日本語 / KOREA / Russian

③ 再生モード (初期値: 2CH)

1CH / 2CH ビューアーの表示画面を選択
1CH=1画面、2CH=2画面

④ リピート再生 (初期値: いいえ)

はい / いいえ
「はい」を選択するとファイルリストにあるすべての
録画ファイルが繰り返し再生されます。

⑤ 常に前に表示 (初期値: いいえ)

はい / いいえ
「はい」を選択するとビューアーソフトのウィンドウが
パソコン上で他に使用しているアプリケーションの
ウィンドウより常に手前に表示されます。

⑥ 映像反転 (初期値: 未選択)

フロントカメラ ☐ 上下反転 ☐ 左右反転 (本体カメラ)
バックカメラ ☐ 上下反転 ☐ 左右反転 (リアカメラ)
☒ するとビューアー上で再生映像が
それぞれ反転します。
ビューアー画面上でも上下・左右の
反転可能です。(7ページ②③参照)

⑦ 製品モデル

XLDR-L2 (以外選択不可)

⑧ 映像設定 (初期値:)

現在のビューアーの再生画面の明るさ・コントラスト・彩度を表示
(調整はビューアー画面上で行う。6ページ⑧参照)

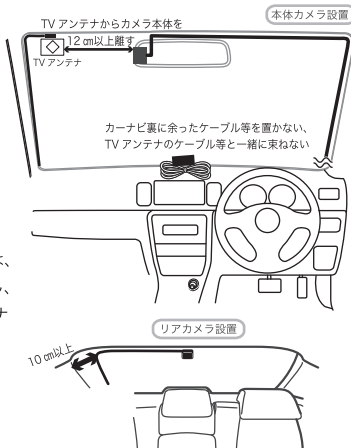
⑨ 音量 (初期値: MAX)

現在のビューアー画面の音量を表示
(調整はビューアー画面上で行う。6ページ⑨参照)

取り付け時のご注意

取り付ける車両に TV フィルムアンテナがある場合、本体またはケーブルを離して設置してください。

1. フロントガラスおよびリアガラス上の TV フィルムアンテナからドライブレコーダー本体を 12 cm 以上離して設置してください。
2. 本機の電源ケーブルやリアカメラ接続ケーブルは TV フィルムアンテナから 10 cm 以上離して配線してください。
3. 本機の電源ケーブルやリアカメラ接続ケーブルは、TV フィルムアンテナケーブルと逆方向に引き回し、配線してください。また、TV フィルムアンテナケーブルと一緒に束ねないでください。
4. 電源の配線は内部でカーナビの近くに余ったケーブル類を束ねないでください。



株式会社ワータックス

〒373-0004 群馬県太田市強戸町162番地13

URL <http://www.watex-net.com/>

お客様サポートセンター係

 0120-25-3930

受付時間：月～金 8：30～12：00 / 13：00～17：30
(土日祝祭日・年末年始などの定休日ならびに特別休業日を除く当社営業日)